



国家財政

令和7年1月3日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

財政の借金をゼロにするという目標は、健全財政への回帰とともに、国際情勢と未来という新たな変化への政治判断とすることを提案したい。

これらは、産業の次世代への転換とともに、税収の増加と行政費用の大幅削減、中央行政と地方行政の大幅な費用の削減、公共工事などへの新しい技術基準における整備と選択と集中における削減、行政の簡素化と民間への委託など、可能な手段において公費の削減し、新しい効率性における運用とともに、財政計画の作成と健全財政への回帰を実現できると考える。

現状の国家財政は完全な破綻状態であり、新しい税制度への移行と税率の引き上げにおいて、産業の発展を妨げない、税制度や、国民所得の維持増加における消費者支出の増加など、政治判断とともに、財政の健全化を提案できると考える。

防衛費や海外援助の大幅な見直しと大幅な効率性の向上における機能的な支出基準への移行など、それら必要性へ効率的な支出基準における新しい財政の構築を実現できると考える。

これらはすべての財政支出へのコスト費における高い効率性の要求と、すべて例外のない見直しと廃止などを念頭に、財政支出基準を求め、その財政の健全化を実現することを提案したい。

これらは新たな金融システムの構築とともに、資本の流通の健全性と国際化への対応を実現し、金融というライフラインの強化と維持転換を明確に実現できると考える。

これらはまた新たな産業性格における次世代産業の育成を行い、税収の大幅な増加を実現したいと考える。

これらは国民の痛みを求め、財政の健全化計画とともに、国家の新しい姿への転換を求め、政治はその説明を国民に対して行うものである。